

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年12月26日

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C			
横断的な課題	木曾らしさを活かした観光振興							
地域重点政策	木曾らしさを活かした観光振興						木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	木曾地域振興局 商工観光課		
事業名	木曾地域観光・農産物等魅力発信事業				電話	0264-25-2228		
					E-mail	kisochi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業概要	目的 (目指す姿)	持続可能な観光振興を推進するために、地域の関係者が一体となって木曾路の魅力を発信し、観光客を増やすことを目的とする。						
	現状と課題	<p>【観光客等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当地域の観光地利用者数はコロナ前の約9割に留まっている^{※1} ○御嶽山を訪れる観光客はH26の噴火前の6割余に留まっている^{※1} ○当地域は他地域と比べ中京方面からの来訪者の割合が特に高い^{※2}。 <p>【県の施策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県の観光アクションプランにおいて大阪・関西万博や北陸新幹線敦賀延伸を念頭に「関西圏からの誘客」を重点テーマの一つとしている。 ○県では令和7年度末を目標に「御嶽山立公園」の国定公園化に取り組んでいる。 ○令和5年4月に「長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例」が施行された。(当地域伝統的工芸品の全国における認知度は低い^{※3}状況。) <p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中京圏では令和6年4月下旬に商業施設、文化センター、オフィス及びホテル等を有する中日ビル^{※4}が新たに開業し、多くの集客が見込まれる。R6.10.5に中日新聞社主催の移住フェアが中日ビルで開催予定。 ○関西圏では営業局及び県大阪事務所が、大阪・関西万博に向けて関西地域での農林畜水産物の販路開拓・拡大を目指し、ららぽーと甲子園で信州PRイベントを開催しており、PRの足掛かりがある。 <p>(※1) 令和4年観光地利用者統計調査(長野県観光部)(木曾地域の観光地利用者22,547百人(R元)⇒20,168百人(R4) 御嶽山の観光地利用者(木曾町+王滝村)2371百人(H25)⇒837百人(R4))</p> <p>(※2) 長野県への来訪者等の分析(長野県公表)(対象期間2022.2.28~2022.3.6)において県内18定点の中で中京圏からの来訪者の割合が40.7%(愛知県30.2%岐阜県10.5%)と最も高い</p> <p>(※3) 産業技術課が実施した信州の伝統的工芸品に関する「リブランディング潜在力全国定量調査」(令和4年度) 認知度について、木曾漆器が県内の78%に対し全国が31.1%と調査品目中最も高く、例えば当地域の木曾材木工芸品は県内の36.3%に対し全国が17.4%に留まっている</p> <p>(※4) 所在地:名古屋市中区栄 階数:地下5階、地上33階 延床面積:約117,000㎡ その他:長野県名古屋事務所・名古屋観光情報センター入居</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中京圏及び関西圏において、木曾地域の観光と農産物等の地場産品を併せてPRし、当地域の認知度向上を図る必要がある。 						
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○局内の課・所、管内町村及び木曾広域連合等と連携し、中日ビル(中京圏)、ららぽーと甲子園(関西圏)で木曾地域の観光と農産物等をPRし、木曾地域の認知度向上を図る。(【中日ビルでのPR】実施日時は10/4(13:00~17:00)及び10/5(10:00~17:00)で、中日新聞社主催の移住フェアに併せて実施した。【ららぽーと甲子園でのPR】実施日時は8/17(11:00~17:00)及び8/18(11:00~14:00)で、営業局の「ようこそ!おいしい・さわやか信州」に出展し実施。) ○具体的には木曾広域連合及び管内町村、当局担当者によるオール木曾チームで、箸作り体験イベントを実施し集客すると同時に、ポスター展示、チラシ配布を実施した。左記取組に加えて中日ビルでは参加事業者を募り地場産品の販売や試食提供等を実施した。 						
	事業期間	令和6年7月			～	令和6年10月		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	木曾地域観光・農産物等魅力発信	<p>【中日ビルでのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国定公園化を見据えた御嶽山の魅力PR(総務管理・環境課 環境係) ・御嶽山安全登山のための啓発(総務管理・環境課 県民生活係) ・木曾地域木材関連産業のPR(林務課) ・木曾地域の農産物のPR(農業農村支援センター) ・木曾地域への移住に向けたPR(企画振興課) ・木曾地域の観光ポスター及び観光パンフ配布(商工観光課) <p>【ららぽーと甲子園でのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国定公園化を見据えた御嶽山の魅力PR(総務管理・環境課 環境係) ・御嶽山安全登山のための啓発(総務管理・環境課 県民生活係) ・木曾地域の農産物のPR(農業農村支援センター) ・木曾地域の観光ポスター及び観光パンフ配布(商工観光課) 	618,111	<ul style="list-style-type: none"> ○ららぽーと甲子園でのPR 職員旅費341,940円 JITBOX45,760円(送料) ○中日ビルでのPR 職員旅費265,820円 JITBOX36,300円(送料) ○木曾チーム取組PRチラシ印刷等 17,000円 ○高速代 12,710円 				
合計		618,111						
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	木曾地域観光・農産物等に対する関心が向上した人の割合(来場者アンケートを実施)		80%	91%	● 達成			
	来場者アンケート回収数		250件	488件	○ 一部達成 ○ 未達成			
事業実績・成果	<p>次の取組等を実施した結果、目標値に対し、木曾地域観光・農産物等に対する関心が向上した人の割合は11%、来場者アンケート回収数は95%上回るなど、当初目標を上回る成果が得られた。</p> <p>1 中日ビルでのPR</p> <p>①木曾広域連合と連携し木曾ひのきの箸づくり体験ブースを設置(体験者132名)②参加事業者を公募し応募のあった8事業者による物販を実施。③②の事業者が当日販売する一部商品の試食・試飲を実施④木曾広域連合と連携し出張木曾おもちゃ美術館による企画を実施⑤木曾の産品や優待券などが当たる抽選会を開催⑥アルクマによるPR⑦在名新聞社3社への本イベント告知</p> <p>2 ららぽーと甲子園でのPR</p> <p>①木曾広域連合と連携し木曾ひのきの箸づくり体験ブースを設置(体験者120名)②木工芸品の展示③④「木曾観光連盟のInstagramまたはFacebookのフォロー」・「木曾地域に関するアンケート回答」を達成した方を対象に開田高原とうもろこしアイスクリームを提供</p>							
今後の方向性	<p>木曾地域からアプローチが容易であり、費用対効果の点で有利[※]な中日ビルでのPRに人的、資金的リソースを集中させ、官民が連携したオール木曾チームで持続的な木曾路の魅力を発信に努め、当地域の認知度向上を図っていく。</p> <p>※アンケート回答1件当たりの職員旅費の比較で中日ビルでのPRはららぽーと甲子園でのPRの約1/3の金額</p>							